

農業版事業継続計画書 簡易版

策定・改定日	2022年2月16日	従業員・家族共有日 (原則策定・改定日から1ヶ月以内)	2022年3月16日	次回改定予定日 (原則1年毎に改定)	2023年2月16日
想定リスク	強風・突風、大雪による園芸施設への直接被害。豪雨・長雨によるほ場やほ場・施設への直接被害。インフラ等への被害による収穫・調整・出荷作業への悪影響。				

1. 基本方針

緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

1	身の安全を守る
2	被害の状況を把握し報告する
3	復旧の対策を立て行動する

2. 重要業務と目標復旧時間

以下の業務の復旧を最優先とし、目標復旧時間内の復旧を目指す。

重要業務	施設
目標復旧時間	二日程度

3. インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等)

種別	影響	対応(代替手段等)
電気	施設の停電	発電機・EV
ガス		
水道(農業用水含む)	苗の水やりが出来なくなる	発電機と動力ポンプで汲み上げ
情報通信	電話で連絡が出来なくなる	LINE
交通	車での移動が困難になる	トラクターを利用する
ほ場等	灌水	水中ポンプ
その他		

4. 事前対策の実施状況

分類	項目	
ヒト	安否確認手段	LINE 連絡体制 社長からLINEなどで一斉に送信する
	避難場所	本社に集まるか、その場にとどまる
	欠員時の対応	親戚に頼む
	その他	
モノ	設備使用不可時の対応	雪害の時は事前に暖房を使用し雪を溶かす 在庫有り(必要数は十分に持つ)2か月分ほど(肥料など)
	誤達支障時の対応	
	その他	
カネ	手元資金	出荷先「●●」より調達
	その他	共済 備考
セーフティネット	保険加入	収入保険 火災保険 共済
	その他	備考
情報	重要情報保管場所	PCにバックアップを保存
	PC等使用不可時の対応	取引先などのデータはGドライブなどに保管する
	その他	
地域連携	出荷先「●●」との連携	

5. 緊急時の体制

総括責任者(代理者)	事業継続担当責任者(代理者)
A氏	B氏(C氏)

【初動対応フェーズ】(目安:緊急事態発生～24時間以内)

○状況確認

確認対象	担当者
役員・従業員	家族を含めた安否確認 A氏
建物・設備	ITを含む状況 B氏
その他事業資源	肥料・飼料・農薬等の在庫 A氏
取引先	状況確認 A氏
インフラ	電気・ガス・水道・交通等の状況 D氏
その他	

○備蓄品の状況

品名	状況	その他
救急箱	有り	
飲料水	有り	ポンプでくみ上げる
食料	有り	
ヘルメット	無し	

○出勤・帰宅ルール

状況	原則ルール
出勤時	連絡に基づく(電話とLINE)
在宅時	連絡に基づく(電話とLINE)
その他	

【事業継続フェーズ】(目安:初動対応完了後～)

○重要業務継続の具体的方法

対応手順	担当者
ハウスの点検 電気で動くものの対応 雪の前には暖房を事前につける ホイールローダーで雪かきをする	B氏
その他 突っ張り棒などを使い各家自宅の倒壊防止を徹底	

BCP策定後の運用

日頃から緊急時における対応を家族や雇用者と話し合ったり、実際に訓練を行っておくことが重要であり、そうすることで緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮できます。また、「1年に1回は見直す」J策定したら1ヶ月以内に皆で確認する」などルールを決めて、運用を心掛けることが重要です。